

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービスすまいるくらぶ		
○保護者評価実施期間	令和6年 10月 1日 ～ 令和6年 11月 30日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	36 (回答者数)	29
○従業者評価実施期間	令和6年 10月 1日 ～ 令和6年 10月 31日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4 (回答者数)	4
○事業者向け自己評価表作成日	令和6年 12月 26日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・利用児が安全に楽しく過ごしてもらえるように、職員間で話し合いなどを行ったり、各種研修を積極的に受け、職員一人一人の資質向上に努めています。	・職員間だけで解決しない事などがあった場合は、同法人内で問題提起をして参考になる意見を出してもらったり、外部の相談出来る機関にアドバイスを求めるなど、より良い支援が出来るように日々努めています。	・どんなにいい支援でも職員間でズレがあると意味がないので、職員間で共通認識が出来るように定期的に話し合いの場を設けるようにしています。
2	・同敷地内に入所施設、児童以外の通所施設もあるので、施設内での交流などを通して、人とのかかわりの大切さを感じられるようにしています。	・家族や職員以外の大人の人と会う中で、いろいろな人がいる事が分かったり、挨拶をしたりする中で社会のルールなどが身に付いていけるようにしています。	・地域とのかかわりがあまりない実情なので、お出かけなどで地域行事などにも参加したりしながら、地域の中で生きているという事が感じられるようにしていきたいです。
3	・日々の活動では動的なもの（運動遊び、体操、散歩など）、静的なもの（製作活動、リラックス、ゲーム活動など）を用意し、かつ利用児が少しでも楽しんで参加出来るように、ルールや支援を工夫して行っています。	・体を思うように動かせない利用児にはその子が出来る動き（腕を動かす、目線を動かすなど）を通して活動に参加してもらったり、ルールを理解できない利用児には職員と一緒に側につき、一緒に参加したりしています。	・活動がマンネリ化しないように、無理のない範囲で新しい活動を考えていきます。また活動に参加したくない利用児には、気持ちを汲み取りつつ少しでも参加してもらえるように声かけ、誘導していきます。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・職員の入れ替わりが多い事、また職員の人数が安定しないため、十分な支援、配慮が行えていない現状です。	・どうしてもマンパワーが必要な所に人が足りていないのが大きな要因と思われます。世間的な人不足もあるため、簡単に人を増やすのは難しいですが、人を増やし、支援の充実を行っていききたいです。	・職員募集をかける事も大切ですが、人を育てる事も大切だと思うので、人材の育成にも力を入れていきたいと思えます。
2	・安全計画や災害時の緊急対応のマニュアルの見直しが出来ておらず、万が一の場合の対応に不安があります。	・必要なのは十分理解しているのですが、人手が足りずに後回しになっている状況です。	・昨今の状況からも災害はいつどこで起こるか分からないので、早急に見直しをはかり、いざという時に対応できるようにしていきます。
3			